

パブリックコメント意見募集の結果公表

帯広市パートナーシップ制度（原案）等に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、帯広市パートナーシップ制度（原案）等の修正は行わず、別添の最終案に基づき要綱の検討を進めます。

【意見募集結果】

案 件 名	帯広市パートナーシップ制度（原案）等		
募 集 期 間	令和4年5月27日（金）～令和4年6月27日（月）		
意見の件数 （意見提出者数）	7 件 （6 人）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	0 件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0 件
	参考	今後の参考とするもの	3 件
	その他	意見として伺ったもの	4 件
意見の受け取り	持参		1 人
	郵送		0 人
	ファクス		1 人
	電子メール		4 人

【意見等の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
当事者にとって、パートナーシップ制度は意義があるものだと思います。「帯広市パートナーシップ制度」、是非、成立させてください。	1	【その他】 性的指向や性自認に伴う差別・偏見の解消、日常生活の困難や生きづらさの軽減をはかり、性のあり方に関わらず、誰もが個人として尊重され、住んでいて良かったと思える地域社会の実現を目指し、着実に推進してまいります。
良いと思います。	1	

パブリックコメント意見募集の結果公表

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>帯広市パートナーシップ制度は、同性カップルや性別を変更していないために法律婚ができないカップルの存在を可視化し、法律婚をしている異性カップルに地方自治体として認められている制度を同性パートナーに適用するものとして、大変意義深いものであると考えます。</p> <p>同性カップルには、日本の婚姻制度が適用されず、法的な関係を証明するものがありません。パートナーシップ制度は、婚姻と同様の保証が受けられるものではありませんが、それでも地方自治体の取り組みとして、同性カップルの暮らしを支える一助になるものであると考えます。</p> <p>特にパートナーシップ制度開始に伴う、市営住宅への入居条件の変更や市職員の各種休暇・手当制度の改善などは、目に見える形での成果であると思います。また、市内在住者だけではなく、在学在勤者を含むことは、周辺自治体から帯広市内への在学在勤者の流動を考えると当然であると考えます。</p> <p>帯広市内で開催している LGBT 向け交流イベントには、市内や周辺自治体の在住の当事者が参加しています。参加者からも、パートナーシップ制度の創設や拡充を求める声は多くあります。制度ができることで、LGBT 当事者が生きやすい帯広になるのでは、という期待もあります。行政として当事者の声を聞きながら、制度を作るだけでなく、より使いやすい制度に進めて行ってほしいと思います。</p>	<p>1</p>	<p>【参考】</p> <p>当事者の方々が暮らしやすいまちづくりを進めるには、パートナーシップ制度の導入後も、多様な性に関する理解促進のほか、様々な視点から取り組みを進める必要があると考えています。今後とも当事者の方々のご意見等を継続的に伺いながら、よりよい制度・サービスにつなげていく考えです。</p>

パブリックコメント意見募集の結果公表

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>LGBT等の当事者の方々の方々の生きづらさに共感することや、性の多様性について認識を深めることが第一に必要と考えます。子供たちの中にも、性的指向、性自認に関わるいじめや不登校、自傷行為などの問題が顕在化しており、帯広市内の中学校でも性の多様性に配慮し、男女とも同じデザインのジェンダーレス制服に変更する動きが広がっています。LGBT等性の多様性に触れる理解が進み、学校現場は変わってきているのではないのでしょうか。</p> <p>目の色、髪の色、肌の色、宗教、職業、障害のあるなし等と同じように、性的指向、性自認、みんな違って当たり前です。SOGI（性的指向と性自認）の考え方を尊重し、帯広市が公的な仕組みとしてパートナーシップ制度を導入することに大いに賛成します。</p> <p>このような制度作りが、誰もが生きづらさを感じなくていい社会にするための大切な足がかりだと感じます。こういった制度が整っている自治体か否か、今後ますます暮らしやすい、生きやすいまちとして選ばれるための重要な視点だと思います。制度を導入し、当事者に寄り添ったよりよい運用がなされることを希望します。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>当事者の方々が抱える困難や生きづらさへの理解や共感を深め、寄り添った対応を進めることが重要と考えています。今後とも、多様な性についての理解を促進しつつ、当事者の方々のご意見等を継続的に伺いながら、よりよい制度・サービスにつなげていく考えです。</p>
<p>住まいが管内でも帯広市に通う人なら制度が使える予定とお聞きました。すぐには無理でも、帯広での学業や仕事がなくとも管内に住んでいれば利用できるようになってほしいです。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>パートナーシップ制度は各自治体が定める仕組みであるため、市民でない方の利用は難しいと考えています。なお、制度を導入するかどうかは各自治体の判断ですが、管内町村には、帯広市におけるこれまでの経過や考え方などについて情報提供を行っており、今後も連携して取り組んでいく考えです。</p>
<p>原案の内容が難しく一人では理解できませんでした。LGBT当事者でも詳しく調べている人もいれば何となくで過ごしている人もいて、当事者の期間もそれぞれですし、もう少し分かりやすい文章で説明するページなどもつくっていただくと、より興味を持って色々な人達が見てくれるようになるかなと思っています。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>制度の導入に当たっては、内容や手続きなどを分かりやすく説明する手引きを作成し、ホームページなどで公開する考えです。</p>
<p>古いきたりにこだわらず、好きな人と結婚したいなら認めてほしいです。家制度にしばられて大変です。できるなら夫婦別姓にしてほしいです。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>本制度は、帯広市の制度として導入するものであり、国の法律に基づく婚姻制度や夫婦の氏について定めるものではありませんので、ご理解をお願いします。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり